



左から

浅野 美貴 さん 熊本YMCA学院 医療秘書科第1期生

浅野 琴海 さん 同学科2年生

上村 眞智子 さん 熊本YMCA学院 非常勤講師 熊本YMCA常議員

熊本YMCA学院医療秘書科の卒業生で現在もクリニックの医療事務として働く浅野美貴さんと、同学科の在籍生である琴海さん親子、そして学科設立時から接遇マナーの授業を担当している上村眞智子さんにお話を伺いました。

## 目指したのは母と同じ医療事務の世界

上村 「二人はなぜYMCA学院の医療秘書科を選んだのですか？」

美貴 「私が子どもの頃、祖父が小さな診療所の院長をしていた影響で、医療に携わりたいと思うようになりました。高校の時に熊本YMCA学院に医療秘書科が開設されると聞いて入学を決めました。」

琴海 「母が働く姿を見て、私も同じ道に進みたいと思うようになりました。実は母と父が出会ったのもYMCAなんです。」

美貴 「夫は同い年で、健康福祉科(現在の健康スポーツ科)の学生でした。その頃はバレーボール部があって、男子と女子がいっしょに練習していたんです。自分たちが通ったYMCAだから、娘が入学を決めた時も安心でしたね。」

琴海 「母が学生時代に接遇マナーの授業を担当していただいていた上村先生が今もい



バレーボール部時代の美貴さん

## 親子が歩むYMCAから続く道

らっしゃると知って、ぜひ私も教わりたいと思いました。」

上村 「美貴さんがいた第1期生の頃は全員が秘書検定2級を取得することを目指していました。医療の現場という明確な目標がある学生たちはとても意識が高く、私の情熱をきちんと受け取ってくれました。」

## 宝物は自分で作ったノート

上村 「私の授業ではあまり板書しないんです。職場では上司が文字に書いて指示を出してくれるとは限りませんよね。相手の言葉をいかにキャッチ出来るかが勝負。だから学生がそれぞれ、私の授業をノートにとるんです。『それがあなたたちの参考書になるよ』と伝えています。」

美貴 「今もそのノートは大切にっていて、時々見返しています。仕事では様々なお客様をご案内する機会がありますが、きちんと学んでいるから自信を持って対応できますね。」

上村 「琴海さんが授業の時に『母のノートです』って持ってきてくれた時はすごく嬉しかったです。美貴さんは、長年医療の現場にいますね。心がけていることはありますか？」

美貴 「常に冷静に、そして笑顔で患者さんの言葉に耳を傾ける。これもYMCAで学んだことです。『あなたに話してよかった』『ここに来てよかった』と言っていただける時は嬉しいです。とてもやりがいを感じています。」

## YMCAで得たもの

上村 「琴海さん、学生生活はどうか？」

琴海 「医療秘書科は専門的な授業が多く、たくさんの検定を受けるので大変です。でもクラスメイトの皆がすごく優しく、放課後に分からないところを教えあったり、休日も電話で連絡したり。すごく楽しいです。」

美貴 「私も、学生時代の友だちとは今もつながっています。診療報酬の改定等があると、『皆の職場ではどうしてる?』と尋ねたりします。力をあわせて支えあう仲間ですね。」

上村 「横のつながりは心強いですね。琴海さん、学生生活で印象的なことは？」

琴海 「1年生の夏にYMCAキャンプのボランティアリーダーをしました。リーダーをするのは保護者の方から子どもたちのいのちを預かるということ。だからプレッシャーも大きかったです。しかも検定の勉強と重なってすごく忙しかった。でも、友だちが一緒ならできると思えました。あの経験は、社会人になった時に必ず役立つと思っています。」

美貴 「夫も学生時代にサッカー教室と水泳教室のリーダーをしていました。だから子どもたちと遊ぶのは得意みたい。以前はボランティアで地域の小学生にバレーボールの指導をしていました。」(2面につづく)



学生時代の美貴さんたち

## Pickup

### サマーキャンプ特集

天空の大パノラマ  
富士登山キャンプ



「ペーロン船に乗ったよ」  
リフレッシュサマー  
キャンプ

「釣れた!」  
フィッシング  
海遊びキャンプ



上村 「YMCAで培ったことが、地域で活かされるって素敵ですね。」

## 琴海さんの目標は...

上村 「琴海さんは7月に病院実習がありましたね。」

琴海 「はい。実習先の病院に事前訪問をしたら、受付にYMCAの卒業生の方が待っていて『YMCAの学生さんでしょう?』と声をかけてくれたんです。とても安心して実習に臨めました。私が目指している医師事務作業補助者という職種の方々の仕事も見学することができて、自分の目指す姿が明確になりました。楽しかったのと同時に、もっと頑張らなくては、とも思いました。」



上村 「今の目標は?」

琴海 「10月に受験する医師事務作業補助者の検定試験に合格することです。」

美貴 「私は取得していない資格なんですよ。」

琴海 「そう。母の学生時代にはなかった資格です。私の目標は母です。子どもの頃から母の患者さんへの対応や病院の医療スタッフの皆さんとのコミュニケーションの様子を見てきました。母を超える医療秘書になるために、これからもしっかり学んでいきます。」

上村 「親子2代の成長に関わることが出来たことを、とても嬉しく思っています。私たちは琴海さんのような情熱あるユースを心から応援します。」



実習の様子

## 専門学校 熊本YMCA学院 願書受付10月開始

「専門教育」「キャリア教育」「人間教育」に取り組む専門学校熊本YMCA学院の2023年度願書受付が10月から始まります。詳細はWebサイトでご確認ください。

建築科・ホテル観光科・医療秘書科  
健康スポーツ科・こども保育科

社会福祉学科  
精神保健福祉学科



〒900-0001 熊本YMCA学院 Tel 096-353-6393

学科	目指せる職業・資格など
一級・二級建築士をめざす 建築科	インテリアデザイナー・住宅設計・建築設計士・建築施工管理技士
東京YMCA国際ホテル専門学校連携 ホテル観光科	ホテル・観光・ブライダルコーディネーター・レストランサービス技能士
日本医師会認定医療秘書養成校(申請中) 医療秘書科	医療秘書・医師事務作業補助・医療事務
スポーツ指導現場との連携 健康スポーツ科	スポーツインストラクター・健康運動実践指導者・NSCA認定パーソナルトレーナー・介護予防運動指導士
指定保育士養成施設申請中 こども保育科	保育士・幼稚園教諭
社会福祉学科 通信制	社会福祉士
精神保健福祉学科 通信制	精神保健福祉士

# Information 行こう 見よう 深めよう

9月11日・18日  
YMCA祭

各センターの工夫を凝らしたお祭りを開催します。



みなみから世界へつなごう えがおの輪  
みなみサザンフェスタ

回 9月11日(日)11:00~15:00  
因 カヌー、ゲームコーナー、バザー、キッチンカー来場他  
場 みなみセンター(熊本市南区田迎5-12-50)  
場 Tel 096-353-6391(音声ガイダンス2)

声かけて、地域につながる、たすけあいな  
ながみね防災まつり

回 9月18日(日)9:00~11:30  
因 災害時に役立つサバイバルテクニク、非常食体験他  
場 ながみねファミリーセンター(熊本市東区長嶺南3-1-107)  
場 Tel 096-353-6391(音声ガイダンス3)

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、内容を変更する場合があります。

体験  
×  
楽しむ

10 11 17

9月7日 Wednesday

## YMCAフィランソロピー協会 3企業の事例から学ぶSDGs

11 17

SDGs  
×  
学び



異なる企業の社員同士が集いボランティア活動に取り組むYMCAフィランソロピー協会がセミナーを開催します。3企業が行うSDGs活動について事例を発表。様々な社会課題に対してどのようにアプローチしているのか、その内容や方法を学び、社会貢献に向けた協働の可能性を探ります。

回 9月7日(水)15:00~16:30 場 肥後銀行 北熊本支店(熊本市中央区黒髪3-6-8)会議室  
事例発表企業 株式会社肥後銀行、リコージャパン株式会社、株式会社タカタペーパープロダクツ  
因 どなたでもご参加可 場 無料  
場 YMCAフィランソロピー協会事務局 熊本YMCA Tel 096-353-6397

お申込みはWebで▶



回日時 場会場 因内容 場参加費 定定員 場参加条件 場持ち物 因対象 催主催 締締切 申申込 問問合せ 他その他

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう

## R | E | P | O | R | T

[ 7月23日⇒ 7月29日 ]

## 防災 プールの水を家庭用水へ 防災訓練を実施

11 6

7月23日(土)、むさしセンターでプールの水を使った防災訓練を行いました。

YMCAと合志市は災害時における生活用水等の供給及び平常時における防災活動への協力を行う防災協定を結んでいます。今回の訓練は、断水を想定してプールの水を水中ポンプでくみあげ、ビニールプールに水をためる。その水を一般家庭のトイレやお風呂に使用するために小分けして供給するというもの。水中ポンプを動かすため、発電機のエンジンを実際にかけてみる、水中ポンプと発電機をつな

ぐ延長コードの使い方や、30メートルにおよぶ送水ホースの地面の這わせ方を工夫するなど、一つひとつの工程を実践しながら確認しました。

参加した合志市職員や運営委員からは「実際にやってみたから分かることがあった」「うまくできなかったことを改善して次回につなげることができた」などの声が聞かれました。災害時を想定して、訓練を続けていくことの大切さを再確認しました。

職員 松本光広



## 体験 盲学校の子どもたち 水遊びやカヌーに挑戦

3 4

7月27日(水)、みなみセンターのプールで46回目となるポニーキャンプをデイキャンプとして開催しました。熊本ワイズメンズクラブや熊本YMCA学院こども保育科の学生たちのサポートにより熊本県立盲学校の子どもたちが水遊びとカヌー体験を行いました。

参加した子どもたちは、最初は緊張していましたが、リーダーたちと親しく交わる中で笑顔が見られ、打ち解けたところで水遊びが始まりました。プールにおもちゃやリングを沈めて拾って遊ぶ「宝探し

ゲーム」やすべり台をしたり、大きいビート板に乗ってみたりしました。カヌー体験は皆さん初めて。オールの使用方を習いながらプール全面を使って遊覧しました。船が浮かぶ感覚や水上を滑らかに進む感覚を存分に楽しみました。

今日が一番楽しかったことの発表では、「深いプールにジャンプして入るのはドキドキしておもしろかった」「リーダーと一緒にカヌーに乗ったら速く進むのを感じて楽しかった」などの感想が話されました。

職員 石屋良輔



## 平和 平和への思い新たに ユース平和ミーティング

16 17

7月29日(金)にオンラインで開催された広島YMCAユース平和ミーティングに、熊本からユースら5名が参加しました。広島、東京、大阪、横浜、栃木、福岡など全国のYMCA関係者が集い、平和について一緒に学びを深めました。

はじめに、在日本韓国YMCA職員の田附和久さんより近代の日韓史と近年の課題について話されました。次に在日韓国人の李鍾根(イ・ジョンゴン)さんが自身の被ばく体験を講話。差別を恐れ、日本人として生活していた李さんですが、原爆の悲惨さを

伝えるため、韓国名で証言活動を始めた思いが話されました。「核を無くしてほしい」「一人ひとりが平和について考えながら過ごしてほしい」と願う李さんの思いを受け止めながら、私たちに出来ることについて、グループディスカッションを行いました。

国が違うと立場が変わり、視点も変わるのだと考えさせられると同時に、私自身も“被ばく者の思いを未来へ受け継いでいこう!”という熱い思いを抱きました。

職員 森下唯



## COM-PASSION II

おもいやりとやさしさ Vol.10

総主事 光永 尚生



## 共に生きる社会で「生きる」ということ

ドイツの社会心理学、精神分析、哲学の研究者であるエーリヒ・フロムは新フロイト派とも呼ばれ、著書に「The Art of Being」「愛すること」ということや「自由からの逃走」などがありますが、「生きるということ」から、テーマを取り上げ

てみました。

熊本YMCAの使命は、その前文で、「熊本YMCAは、熊本バンドの精神をうけつぎ、イエス・キリストによって示された愛と奉仕のわざに励み、青少年の精神、知性、身体の調和のとれた全人的成長を願い、すべての人々がひとつとなるための働きを行います」と謳っています。そして、6つの具体的な働きの第1番目に、「共に生きる社会」を標榜しています。

「共に生きる社会」を考える時、私たちの社会はどのように変化してきたのか、フロムの著書がヒントを与えてくれています。日本のグループワークの第一人者で、熊本YMCAに長く奉仕をされた、故坂口順治さんは、1999年、日本

YMCAスタッフ研修ステップIIの講義の中で、こう解説してくださいました。「社会の変容は、To Haveから、To Beへ、そして、To Be Withへと移り変わっていくだろう。そして、共に生きる社会のありようこそ、社会教育団体を標榜するYMCAが、生涯をかけて追い求めるべき社会のより良い方向である」。この言葉を、23年後の今も鮮明に覚えています。そのことが、今私たちのYMCAが求めているビジョン2023-2027に向かう、「互いを認め合い、高めあう『ポジティブネット』のある豊かな社会を創る」という活動の目的に適うように想えてなりません。6月にお別れを申し上げ、7月8日に天国に召された、坂口順治さんのことを暫し偲びます。 在圭平安

# 子どもたちの輝く未来のために 熊本YMCA阿蘇キャンプ70周年 記念募金ご協力をお願い

YMCA阿蘇キャンプ70周年記念特集 2

募金期間：2022年8月1日(月)～2023年6月30日(金)

おかげ様で熊本YMCA阿蘇キャンプは、70周年を迎えました。これからも次の世代の輝く未来のために、YMCA阿蘇キャンプを通してYMCAの使命の実現を図ってまいります。阿蘇キャンプ70周年記念募金のご協力をよろしくお願いいたします。

## 募金の 使途

1  
阿蘇キャンプの  
施設改修他

2  
YMCA阿蘇キャンプ  
リーフレットの作成

3  
阿蘇キャンプ70周年  
記念諸事業の実施

### 募金方法

- ①お名前等の確認のため、Webサイトから募金のお申し込みをお願いします。  
②最寄のYMCAにご持参いただくか、下記の金融機関にて払い込みをしてください。

Webサイトよりクレジットカードでのお申し込みも可能です。

■肥後銀行 新町支店(銀行コード:0182 支店コード:103) 普通預金  
口座番号 1379751 口座名義 熊本YMCA阿蘇キャンプ 代表 光永尚生

■郵便振替

口座記号番号 01720-3-91216 口座名称 熊本YMCA阿蘇キャンプ70周年記念募金

※熊本YMCAに対する募金(寄附金)は税制上の優遇措置を受けることができます。

図 熊本YMCA本部事務局 Tel 096-353-6397 e-mail honbu@kumamoto-ymca.org



### 建築を学ぶ学生が ワークキャンプ

6月、熊本YMCA学院建築科の1年生と2年生がそれぞれ阿蘇キャンプを補修、清掃するワークキャンプを行いました。

食器庫の修復、防災倉庫の整理整頓など、本格的な夏と70周年に向けて、環境を整えることができました。

## 常議員会議長 交代のご報告



熊本YMCAの活動を支える維持会員約800名の代表である常議員の議決機関「常議員会」の議長・副議長が、吉岡久美さん(長 写真左)、森博之さん(副 写真中央)から森博之さん(長)、本田節子さん(副 写真右)に代わりました。

任期：2022年6月～2023年5月

### 議長

森 博之 さん (みなみ運営委員・  
ジェーンズワイズメンズクラブ会員)

### 副議長

本田 節子 さん (幼稚園運営委員・  
Nスピリットワイズメンズクラブ会員)

## わたしと聖句

フィリピの信徒への手紙 1章 29節

つまり、あなたがたには、キリストを信じることでだけでなく、キリストのために苦しむことも、恵みとして与えられているのです。

### 苦しむも恵み

河野進(1904-90)という詩人で牧師として救済運動を50年以上された方の詩を紹介します。

「病まなければ」  
病まなければ捧げ得ない  
悔い改めの祈りがあり  
病まなければ聞き得ない  
救いの御言葉があり  
病まなければ負い得ない  
恵みの十字架があり  
病まなければ信じ得ない  
癒しの奇跡があり  
病まなければ受け得ない  
労わりの愛があり  
病まなければ近づき得ない  
清い聖壇があり

病まなければ仰ぎ得ない  
輝く御顔があり

おお、病まなければ  
人間でさえあり得なかった

みなさんも「うがなかったなら」今の自分  
はなかったのではないかと、いうものがある  
のではないのでしょうか。それはラッキーなこ  
とやハッピーなことよりも、苦しいこと、困難  
なこと、悲しかったことではないでしょうか。  
パウロは「キリストのために苦しむこと  
も、恵みとして与えられている」と言います。  
この言葉は獄中で書かれました。数多く体験  
した苦しみや試練を、パウロは自分に与えら  
れた恵みと理解したのです。

ただ、やっぱり苦しみにはできれば遭いた  
くないのが本音です。それでも、人には苦し  
みを通してしか気付かないことがあるの  
でしょう。地震、水害、コロナ禍を経験した私  
たちは、「人として何をなすべきか」、「人とし  
て何をしてはならないのか」、「人の痛みに寄  
りそうには」と考え生きてきました。このこ  
とが恵みとなることを信じ、笑顔で生きてい  
きたいですね。

在日大韓キリスト教会熊本教会  
金聖孝

発行所／(公財)熊本YMCA  
〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1  
TEL 096-353-6397(代)

発行人／光永 尚生 編集人／辻 健太郎  
定価60円 購読料は会費を含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



Facebook

### 熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動  
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

### 2022年度基本聖句

イザヤ書 40章31節

主に望みをおく人は新たな力を得 鷲のように翼を張って上る。  
走っても弱ることはなく、歩いても疲れない。